

平成27年10月 発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70  
静岡県総合社会福祉会館内TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312  
E-mail:sizurosi@vesta.ocn.ne.jp  
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

# しづ老施協

卷頭言

## 県外研修紀行文



静岡県老人福祉施設協議会  
研修委員会副委員長  
安河 章央

平成27年度の静岡県老施協視察研修は、7月1日から2日かけて実施されました。私はこのたび初めて参加させていただきました。今回は兵庫県にあるサービス付き高齢者住宅と特別養護老人ホームの2施設でした。この県外視察研修は、一昨年は伊勢、2回目は神戸となります。周囲の状況を知ることで、更なるサービスの向上のヒントにするための研修となっています。

さて、第1日目のリゾートホテルのようなサービス付き高齢者住宅は贅を尽くした豪華としか言いようない印象でした。宿泊施設と間違えてしましました。2日目の特養見学も豪華としか言いようない施設でした。この2施設を見学して強く感じたことは、一握りの富裕層の方も高齢を迎える現実があるということ、そして人口の多い都市部での競争に打ち勝つための創意工夫が尋常ではないことです。そこまで本気で取り組むところがすばらしいとも思いつつ、そこまでやる必要があるのかとも感じました。

そして大切なことは、人生を最後まで諦める必要のない環境（制度や社会資源を含む）を整えること、その選択肢は複数あっても自分なりに満足できることを必ず見つけることができると思います。そういう「住み慣れた地域」の柔軟性も必要なものではないでしょうか。与える続けることも必要だとは思いますが、それと同時に協力して作り上げていくことによって大切な何かが生まれることもあるのではないかとも思いました。

四苦八苦しながらこの原稿を書いている8月15日は、日本が戦後70年目を向かえ、戦争の悲惨さを訴え

ながら二度と戦争を起こさないことを伝えるさまざまなテレビ番組が放送されていました。その中で一番印象に残ったのが、戦地から生き残って戻られた方が、「…私たちは器械であって人間ではなかった…感情も理性もなかった…」と語っている場面でした。

ここだけを切り取って当てはめてみると、現在の介護の現状も同じような現状になっているのではないかとふと感じたわけです。戦争と介護は関係ないはずなのになぜ自分はそう思ってしまったのかについては、時代は違っても、「人間が生きるということ」はいつの時代もその尊厳は保障されなければならないのではないかと感じたからかもしれません。

しかも現在、介護保険制度を利用されている年齢層の多くは戦争経験者です。国のために、社会のために、家族のために必死に生きてきた方に対し2度同じ思いをさせているのではないかという思いが湧いてきたからかもしれません。現在、その方々の人生を懸命に支えている介護職員は戦争を知らない世代です。

先ほど戦争と介護は関係ないと述べましたが、関係のではなく、時代の流れの中で「人として生きること」とはどういうことなのかを学ぶこと、また、「その尊厳は保障されなければならない」とも述べましたが、日々の仕事の中で、利用者様、入居者様に対するどういう行動や言動が「尊厳を守り続けること」になるのか実践の中で役立てるにも重要だと痛感しています。介護職として常に共有したい内容です。

県外研修を通じて、これから地域のあり方、施設の役割を再確認するきっかけを与えて頂いたと思います。関係者の方々貴重な体験をありがとうございました。(特別養護老人ホーム「堇山・ぶなの森」施設長)



特 集

# 第7回高齢者福祉研究大会を終えて

大会実行委員長 池 田 達哉

今年で第7回となる静岡県高齢者福祉研究大会が、静岡市の「グランシップ」において開催されました。会員施設の皆様のご協力により、当日は発表者140名（発表72題）、視聴参加者710名、運営スタッフ62名の総勢900名を超すご参加をいただき、盛況のうちに終えることが出来ました。

今年の講演会は、高齢者向けシューズ「あゆみ」でお馴染みの徳武産業株式会社から十河社長をお招きし、「感動のオンリーワン企業を目指して」と題してご講演頂きました。高齢や障害等により自分に合う靴が無く困っている人や、靴を履くことを諦めてしまっている人と出会い、その方たちを助けたいという一心でオーダーメイドの靴を開発し提供。事業の損得ではなく、何とかしてあげたいという熱意から特殊なシューズを事業化させた、心温まる貴重なお話を伺いました。

私たちも介護現場において高齢者に対し、靴に限らず「無理・仕方がない・必要ない」と決めつけてしまう場面がありますが、相手の気持ちを汲み取ること、

そしてそれに応えることの大切さを改めて感じさせてくれました。

引き続きの研究発表は、6ブロックに分かれて72施設に発表して頂きました。発表内容で特に多かったのは認知症の方に対する個別支援に関するもの、レクリエーションや余暇の工夫、排泄に関する事、チーム連携や職員教育などがありました。また地域貢献や地域連携、防災活動などの発表が例年に比べ増えていました。研究大会も回を重ねるにつれ、発表はより分かりやすく、また熱意がこもり、県内施設の介護力の向上を肌で感じられた1日となりました。

改めてご参加頂きました会員施設の皆様、運営に携わって頂きました企画経営委員会、研修委員会、21世紀委員会、大会実行委員会の皆様、そして県老施協事務局の皆様に心から感謝いたします。

来年は大会初の西部地区開催、アクトシティ浜松での開催となります。静岡県の介護の質の更なる向上を目指して、次回もご協力の程、よろしくお願ひ致します。  
(特別養護老人ホーム「こもれび」施設長)

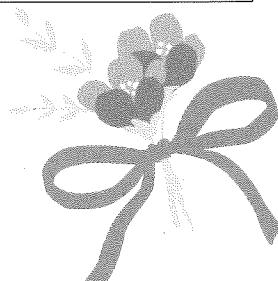
## 第7回静岡県高齢者福祉研究大会 優秀賞

ブロック	施設名	演題
A	いづテラス	ひとりじゃないよ
B	ケアハウスゆやの里	ゆやの里地域交流プロジェクト
C	デイサービスセンターひだまり	青春がよみがえる「おとなの学校 ひだまり教室」
D	グリーンヒルズ東山	「食べたい！」意欲を取り戻す多職種連携
E	ヒューマンヴィラ伊豆	食事を摂っていただくために
F	ヴィラージュ富士	居酒屋「なごみ」

**<予告> 第8回静岡県高齢者福祉研究大会 開催日程・会場**

・期 日 平成28年8月19日（金）

・会 場 アクトシティ浜松



## シリーズリレーコラム

### 「的確で思いやりのある対応を目指して—利用者第一主義の実践—」

静岡県老施協21世紀委員会

委員長 木下晋一

今年も、21世紀委員会主催の接遇マナー研修を6月30日に、AOIで開催致しました。元JALの国際線キャビンアテンダントによる実践形式の講習に、この日も朝から142名の参加を得て委員と合わせて総勢160人以上の方々が受講されています。数年前より有料となり、社名もJALアカデミーからJプレゼンスアカデミーへ変更されましたが、変わらず多くのご参加を得る事が出来、あらためて、この研修に対する施設の皆様の期待の大きさを実感しています。

私は施設で働く皆さんに正しい言葉使いや言い回し、好感の持てる態度等を再確認してもらい、より良い接客マナーを身につけて頂きたいと思い13年前に、この接遇マナー研修を企画し21世紀委員会に上程致しました。以来この研修を受講される方は年々増え、昨年2000人を超えるました。この事は当委員会として大変

誇らしい事であり同時にこれまで支持して下さった会員施設の皆様に委員会一同大変感謝申し上げております。

私は、これまで受講された方々に、毎回お伝えして来た事があります。それは現場の職員の皆さんのが、ほんの数日の新人であっても何十年のベテランであっても役職が在っても無くても一旦、施設でお客様と相対したその瞬間から、施設を代表しているという自覚を持って頂きたいという事です。

日頃、施設でどれほど素晴らしいサービスを用意しても、それをご利用者に提供する現場のスタッフの接客態度が悪ければ「顧客満足度」は半減してしまいます。何年も先達が培ってきた良い評判も、たった一人の態度が悪かっただけで施設全体が悪い印象を持たれる事もあります。『現場の職員の皆さん一人一人の接客マナーが施設の印象そのものを左右する』という事を理解して戴き、皆さん普段何気無く使っている言葉遣いや言い回し、態度等を、もう一度再確認して、この研修を参考により良い接客マナーを身に付けて頂きたいと思っています。

(軽費老人ホーム 玉沢昭寿園)

### 《マナーの基本5原則》

#### ☆ 挨拶

豊かな人間関係づくりの第一歩。

「先に・相手の目を見て・相手に合わせて・大きな声で明るく・続けて」

#### ☆ 表情

豊かな表情をつくるトレーニングで心からの笑顔を。

#### ☆ 身だしなみ

相手に対する「身のたしなみ」。TPOに合った服装とは。

身だしなみの3原則—「清潔感・上品・控えめ」

#### ☆ 言葉遣い

心遣い・気遣いを形に表す話し方。

「明るく・やさしく（優しく・易しく）・美しく」を心掛ける。

#### ☆ 態度

目に入る言葉。「誠意・熱意・創意」などを外的態度に表現する。



## 新人職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

### 和みの郷

(沼津市)

- ① 加藤美寿々・介護職
- ② ぶつけて大破した愛車のミラ  
ココアが帰ってきたこと
- ③ 明るく前向きなベッキー！
- ④ タピオカミルクティー1年分買いため。リバ  
ウンドした体重をすぐ減量  
できる高級エステに行く
- ⑤ 利用者も職員も笑顔でアッ  
トホームな施設、職場



### 羽衣の園

(静岡市)

- ① 杉山 綾・介護スタッフ
- ② ご利用者様に名前を覚えら  
れしたこと
- ③ GENERATIONS、EXILEの関口メンディー
- ④ 海外旅行（観光、先進国福  
祉施設見学）
- ⑤ 施設内の従来型、ユニット  
型、デイ、ショートが互い  
に連携してのレクリエー  
ションを行いたい



### 浜松中央長上苑

(浜松市)

- ① 鈴木勇樹・介護職
- ② 入居者様に色男と呼ばれ  
た時
- ③ 長友佑都  
(サッカー選手)
- ④ ランボルギーニを買う
- ⑤ 明るく、楽しい施設にし  
たい



### いづテラス

(三島市)

- ① 田村奈津美・介護職
- ② 友達と旅行に行く計画を立て  
たこと
- ③ 福士蒼太（タレント）
- ④ 半分貯金、半分旅行や遊び  
に使う
- ⑤ 利用者と職員が毎日笑顔で  
いられる施設



### 海山荘

(牧之原市)

- ① 奥山晴香・介護職
- ② 高校時代の友達と会えたこと
- ③ 本田 翼
- ④ 好きな国への旅行
- ⑤ コミュニケーションを大切  
にし、利用者様を第一に考  
えていく施設にしたい



### 西之島の郷

(磐田市)

- ① 近藤恵梨菜・介護職
- ② 自動二輪の免許を取得でき  
たこと
- ③ 相葉雅紀、ジャニー喜多川
- ④ 全国の絶叫マシーンを乗り  
つくしたい
- ⑤ 利用者様、職員とも笑顔の  
絶えない施設にしていきた  
い



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手  
④ もし宝くじで1億円当ったら何に使うか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか



## 施設名称の由来と想い

### 『風の杜』に寄せる想い

特別養護老人ホーム 風の杜  
施設長 大塚芳子

『風の杜』は、南に田子の浦、駿河湾を望む高台に位置しています。背後には、世界遺産の富士山が高くそびえており、まわりをお茶畑やミカン畑、そして豊かな森が取り囲んでいます。高台のふもとは、かぐや姫伝説の地であり、田子の浦は山部赤人の「田子の浦にうち出でてみれば白妙の富士の高嶺に雪はふりつつ」の歌で有名です。富士山を囲む街に住む人々は、「自分のところから眺める富士山が一番!」と言い富士山の自慢話をしますが、私もひそかに我が施設から望める富士山が一番素敵だと思っています。

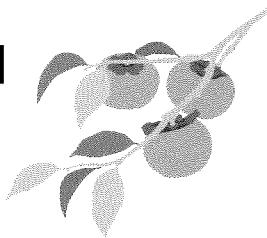
そんな立地にあるわが施設ですが、なぜ『風の杜』という名前になったかというと、はっきりこれだと言える理由が見当たらない、というのが正直なところです。実は、施設の建設時に古墳が出るかも、という話があり、実際2基の古墳が発見されました。前方後円墳のような巨大な古墳ではなくそれよりも時代が古い小さな円墳だと思われますが、この地の豪族の墓ではないでしょうか。古い時代では土木技術が発達していないため、建造物を作るときにはなるべく自然災害に

合わないような立地を選んで、家や墓を作ったようですので、まさに『風の杜』は災害にも強く、恵まれた立地と言えるでしょう。

それよりも何よりも、この地はいつも富士山から駿河湾に向けて風が吹き抜けていく場所で、すがすがしい感じがしました。それぞれの季節で風の薫りや色、温度やイメージまでも違うのですが、空気が滞ることなくいつも風が流れていく、そんな場所だったので施設名は『風の杜』、ユニット名も『緑風』『清風』『薰風』、ショート『そよかぜ』としました。わが法人の理念に、『地域でのこころ豊かな生活のために』という言葉があります。こころ豊かに生活していくために必要なことはたくさんありますが、そのなかのひとつとして、環境の良さ、自然に恵まれていること、ロケーションの素晴らしさがあると思います。私たちは、この施設と施設を取り巻く環境を大切にして、利用者さんとともに豊かな生活を送ることができるよう、日々の仕事に取り組んでいきたいと思います。



## ●施設のユニーク行事●

**「食欲の秋に向けて」**

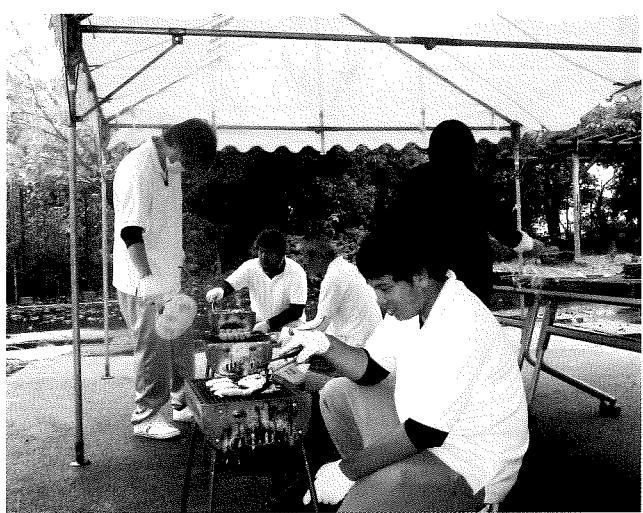
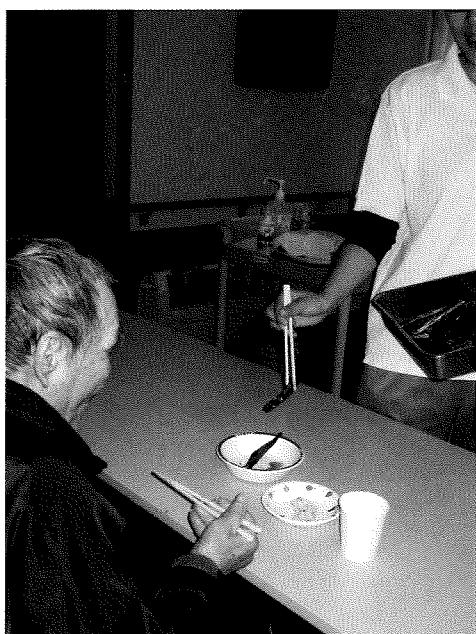
山崎園では、10年程前から秋に行うユニーク行事（恒例行事）があります。すっかり秋めいた10月下旬から11月初旬において「炭火焼」と称するイベントを行っています。落葉が始まり、少し肌寒さを覚える気候になりましたら炭火焼を行う好機と判断、炭火焼の準備が始まります。炭や薪を準備し、魚や野菜の準備、そしてこの日を多くの方々が楽しみに集まって来ていただけです。屋外でのバーベキューをする如く、職員も火加減の調整を行い、美味しく焼けるよう楽しんでいます。炭で焼いて香ばしい匂いがより一層の食欲をそそる秋ならではのイベントではないでしょうか。昨年度は、ししゃも・ほっけ・サンマ・つくね・さつま芋・焼きおにぎりを提供させていただきましたが、今年は何にしましょうかただ今思案中です。ここで提供させていただく魚の食材は、事前に全ての骨を取り除いてありますので安心してお召し上がりできます。入居者様が若かりし頃は、多くのご家庭で七輪に炭を入れて魚を焼いて調理していたと思います。特にサンマは煙が大量に出ますので、外で焼かないと煙が充満してしまいます。魚やさつま芋を外で焼いていた頃を思い出す方がいるかもしれません。入居者様が、炭火焼をした翌日に「この前食べた魚、ありゃ～あったかくて美

特別養護老人ホーム山崎園

施設長 竹村信治

味かったのでまたやってくれんか」と言われた時、「毎月やってもいいかな」と思うほど嬉しかった一言でした。

施設に係わる全ての人たちが喜び楽しむイベントを今後も考えていき、ユニーク行事が恒例行事になることを願っています。これからも施設から笑顔が満ち溢れるユニークなイベントを考えて、入居者様・利用者様に喜んでいただける施設を目指していきます。



## 活動報告（予定も含む）

★ 印は予定

### 【老施協】

★研究大会 27年8月6日

第7回静岡県高齢者福祉研究大会を静岡グランシップで開催、参加者総数912名

★第2回理事会 27年8月17日

会長表彰受賞者の決定、第7回静岡県高齢者福祉研究大会開催結果報告、防災訓練の実施計画、「介護の日」啓発活動等

☆第3回理事会 27年12月9日15:00～クーポル会館

☆第4回理事会 28年3月8日14:00～福祉会館

☆定例総会 28年3月24日13:30～福祉会館

### 【企画経営委員会】

★27年7月24日「しづ老施協」の編集、企画内容の協議

### 【研修委員会】

★27年7月1日～2日 県外視察研修（兵庫県内2施設）

★27年9月30日「介護力向上研修～研究発表 Again!～」

☆27年10月2日10:00～（予定）職員研修会「介護現場のリスクマネジメント」

\* 講師 ウエルガーデン伊興園 杉本浩司

☆28年1月25日14:00～（予定）職員研修会「平穏死という言葉が生まれたわけ」【特養・研修委員会共催】

\* 講師 医師 石飛幸三

### 【21世紀委員会】

★27年9月15日 県外視察研修、グループ討論等

☆27年10月8日（予定）県外視察研修（第42回国際福祉機器展）東京ビッグサイト

### 【静岡県高齢者福祉研究大会実行委員会】

★27年7月24日 第7回高齢者福祉研究大会合同会議全体スケジュール、業務分担の確認等

### 【特養委員会】

★27年9月16日 27年度事業計画、県への意見・要望等

### 【養護委員会】

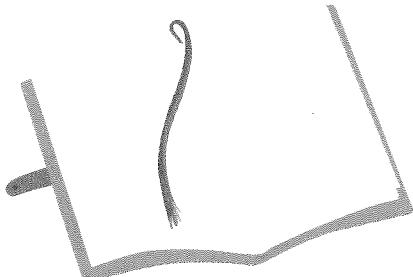
★27年7月8日 27年度事業計画等

### 【在宅委員会】

☆27年10月30日 研修会開催について

☆28年1月18日13:30～（予定）職員研修会「地域包括ケアシステムにおける在宅福祉サービスの役割」

\* 講師 泉田照雄



### 編集後記

夏の暑さのためか、介護報酬の減額のためか、ボディーブローのようにジワジワと効いてきた感じがします。この状態から抜け出すには個々の努力も必要ですが、会員間の情報交換や共同事業への取り組みが重要かと思われます。

会話のセーフティネット「しづ老施協」で共通認識・共通理解が図れたら幸いです。 (佐々木)

平均寿命が年々伸びている。一方「健康上の問題で日常生活が制限なく自立した生活できる期間」を健康寿命と言われている。高齢者福祉研究大会で、高齢者への健康増進を図るための活動報告もあった。健康づくりは、平均寿命と健康寿命の差を広げない要因もある。介護予防や自立支援にあたる職員の方々の日々の努力に、感謝をしたい。 (松本)

夏休み施設に「親子で介護のお仕事体験バスツアー」(静岡県主催)に来てくれました。

目をキラキラと輝かせて高齢者疑似体験や入居者とのふれあいをしました。

未来ある子供たちが、職業選択の一つに「介護」を加えてくれたらうれしいと感じた一日でした。職業体験は貴重な経験になったことでしょう。 (花木)

# 新加入施設紹介

平成27年10月現在

ケアハウス

## ケアハウス やまぼうし

法人名 社会福祉法人 博友会  
 開設日 平成27年4月1日  
 (入会申込 平成27年5月30日)  
 施設長 井出 三恵子  
 所在地 沼津市足高251-7  
 入所定員 60名



特別養護老人ホーム

## ラスール掛川

法人名 社会福祉法人 湖星会  
 開設日 平成27年4月1日  
 (入会申込 平成27年7月20日)  
 施設長 斎藤 栄  
 所在地 掛川市杉谷南1-1-20  
 入所定員 100名 デイ20名 短期20名

新規会員を  
ご紹介ください！



【県老施協事務局からのお願い】

会員皆様方のお近くで施設を開設したといった情報や未加入の  
 お知り合いの施設がございましたら是非ともご紹介くださいます  
 ようお願いいたします。

### 連絡先

静岡県老人福祉施設協議会事務局

TEL 054-653-2311